



いきいき雪国やまがたづくりに向けた 取組みについて



いきいき雪国やまがた推進県民会議

令和5年11月27日





～ 「いきいき雪国やまがた基本条例」の制定（H30.12月）～

本条例の制定により、**すべての県民が安心して暮らし、国内外から多くの人々が訪れる「いきいき雪国やまがた」**を実現

条例のポイント

❄ 以下を**基本的な考え方**として、雪に関する施策を展開

- ① 県民の生命、身体及び財産を降積雪による災害から保護すること
- ② 自助、共助、公助による総合的な除排雪を推進すること
- ③ 雪に培われた文化を尊重し、雪に親しむ意識を醸成すること
- ④ 雪の利活用により産業振興及び地域活性化を推進すること
- ⑤ 技術イノベーションにより冬期間の快適な生活を実現すること
- ⑥ 県、市町村、事業者、県民が適切に役割を分担し、連携、協力すること

❄ 雪に関する**基本的な施策**として以下のとおり推進

- I. **雪に強い県づくり**（雪に強い都市形成や道路網の整備 等）
- II. **豪雪災害対応**（豪雪時の集中的な除排雪の実施 等）
- III. **地域における除排雪の推進**（地域の除排雪活動の担い手確保、安全な除排雪活動の推進 等）
- IV. **雪を利活用した地域活性化**（雪を利活用した観光の振興、克雪技術イノベーションの推進 等）

❄ 上記施策を推進するため、新たな計画策定、推進体制の整備、財政措置を講じる



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

テーマⅠ 雪に強い県づくり

(1) 事業の展開

1. 雪に強い基盤整備の促進

- i) 雪への対策を盛り込んだ都市インフラ整備の推進
- ii) 豪雪時にも道路交通が確保できる道路網の整備
- iii) 安全で快適な住まいづくりの推進

2. 冬期間の公共サービスの確保

- i) 積雪期でも必要な医療・福祉サービスが受けられる在宅サービス、移動サービスなどの充実・強化
- ii) 児童生徒の通学の安全を確保するための環境の整備
- iii) 公共交通事業者と連携した円滑な公共交通の確保
- iv) 電力会社、電気通信事業者との雪対策の連絡体制の構築
- v) 雪に関する情報発信の強化

3. 事業者における雪対策の取組みの強化

- i) 豪雪時の物流の確保など事業継続に向けた取組みの促進

(2) 現状と目標値

- ①街路整備事業における無散水消融雪施設の整備延長
現状値 (R4末) : 2.9 km / R4目標値 : 2.9 km
- ②雪に強い住宅リフォーム補助件数 (累計)
現状値 (R4末) : 5,122 件 / R4目標値 : 3,900件
- ③マイロードサポーター活動団体数 (歩道除雪実施団体)
現状値 (R4末) : 65団体 / R4目標値 : 68団体



◎ 山形県雪情報システムの運用

県内12地点におけるきめ細やかな降雪予測情報や、気象庁発表情報等を提供
雪氷防災研究センターの「雪おろシグナル」システムサイトとのリンクにより、
適切な屋根の雪下ろし時期の判断材料（屋根雪の積雪重量等）も併せて提供※

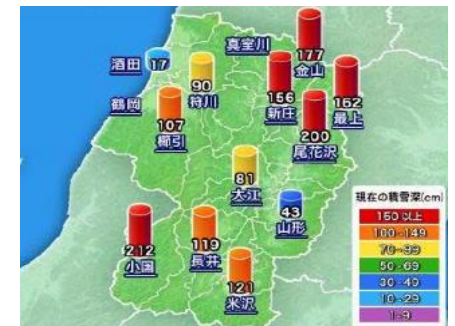
- R4運用期間 令和4年11月14日～令和5年3月31日
- R4閲覧件数 約520万件（R4）

★今年度の運用について

- ◎ 運用期間：令和5年11月13日～令和6年3月31日

※ 「雪おろシグナル」

屋根の雪下ろしを行う時期が適切に判断できるように、県内の各地域における現在の積雪重量や、前回の雪下ろしを実施した以降の屋根の積雪重量をシミュレーションし提供するシステム



システム画面



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

◎ 「雪下ろし・落雪事故防止注意喚起情報」の発信

積雪や最高気温などの気象データ、人的被害発生状況をもとにした分析結果に基づき、事故の発生しやすい気象条件に該当する場合に、「雪下ろし・落雪事故防止注意喚起情報」を発信し、適時適切な注意喚起を行う。

- 対象期間：12月から翌年3月までの降雪期間（昨年度12月1日～3月31日）
- 対象地域：東南村山・西村山地域、最上・北村山地域、置賜地域、庄内地域
- 発信方法：市町村、消防本部、総合支庁、報道機関への情報提供を通じた県民への周知
- 発表基準：以下の基準①～③すべてに該当する場合

地域	基準① 積雪深	基準② 降雪量(過去10日)	基準③ 最高気温
東南村山・西村山	20cm以上	20cm以上	-2℃以上
最上・北村山	75cm以上	15cm以上	-2℃以上
置 賜	45cm以上	20cm以上	-2℃以上
庄 内	20cm以上(櫛引)	20cm以上	-2℃以上(鶴岡)

★今年度の運用について

- ◎ 運用期間：令和5年12月1日～令和6年3月31日



◎ 「雪下ろし・落雪事故防止注意喚起情報」の発信

○令和4年度の発信状況

発表日	対象地域
12/16(木)	最上・北村山地域
12/18(土)	庄内、最上・北村山地域
12/19(月)	置賜、最上・北村山、庄内地域
12/24(土)	東南村山・西村山、最上・北村山、庄内地域
12/31(土)	最上・北村山、置賜、庄内地域
1/2(月)	置賜地域
1/6(金)	最上・北村山、置賜、庄内地域
1/22(日)	庄内地域
1/24(火)	最上・北村山地域
1/26(木)	置賜地域
1/29(日)	庄内地域

発表日	対象地域
1/31(火)	最上・北村山地域
2/2(木)	置賜地域
2/5(日)	庄内地域
2/7(火)	最上・北村山地域
2/9(木)	置賜地域
2/14(火)	最上・北村山地域
2/16(木)	置賜地域
2/21(火)	最上・北村山地域
2/23(木)	置賜地域
2/28(火)	最上・北村山地域
3/2(木)	置賜地域



テーマⅡ 豪雪災害対策

(1) 事業の展開

1. 豪雪災害対策

- i) 集中的豪雪時の道路交通の確保
- ii) 地域の豪雪時の対応力の強化
- iii) 豪雪時の災害を防止・軽減する防災基盤の整備

(2) 現状と目標値

① 地域一斉除排雪の実施市町村数

現状値 (R4末) : 14市町村 / R4目標値 : 13市町村

② 防雪柵の整備及び更新延長

現状値 (R4末) : 231.9 km / R4目標値 : 232.4 km



◎ いきいき雪国やまがた推進交付金による効果的な雪対策の推進

地域の実情に的確に対応した雪対策を推進するため、市町村が計画的に実施する総合的な雪対策を支援

- 補助率：1/2以内
- R5交付額：83,711千円（全35市町村が活用）
- 市町村の主な取組み
 - ・ 要援護者宅の除排雪への支援
 - ・ 自治会等が行う地域一斉除排雪への支援
 - ・ 地域の自助・共助による除排雪に必要な資機材の整備
 - ・ ICTを活用した道路除排雪の省力化・効率化の実装事業（R4～） 等
- その他：令和2、3、4年度において「豪雪対策枠」を執行。
豪雪対策本部が設置されるような豪雪時には、
市町村に対して追加支援ができるようにしている。



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

テーマⅢ 地域における除排雪の推進

(1) 事業の展開

1. 道路除雪体制の充実

- i) 国、県、市町村の連携のもと効果的で効率的な道路除雪の実施

2. 人口減少に対応した持続可能な地域除排雪の推進

- i) 地域の実情に応じた除排雪体制の仕組みづくり
- ii) 新たな地域除排雪の担い手確保
- iii) 要援護者世帯に対する除排雪支援の充実

3. 雪害事故防止の取組みの強化

- i) 高齢者等に対する実効性のある雪害事故防止の普及啓発の展開

(2) 現状と目標値

- ① 県道と市町村道の除雪路線交換延長（県の除雪延長）

現状値（R4末）：149.9 km / R4目標値：144.8 km

- ② ICTを活用した除雪システム導入市町村数

現状値（R4末）：21市町村 / R4目標値：19市町村

- ③ 「やまがた除雪志隊」の登録者数

現状値（R4末）：1,198人 / R4目標値：1,150人



◎ 広域除雪ボランティア「やまがた除雪志隊」による除雪活動

地域における除排雪の担い手確保のため、県内外から幅広く除雪ボランティアを募り、「やまがた除雪志隊」として登録し、広域的な除雪活動を推進
(除雪志隊の交通費等の活動経費を助成)



除雪活動の様子(戸沢村)

- 登録者数 1,198名 (令和5年11月8日時点)
- R4助成実績 27名 (2市町2回の開催に参加)

★今年度の取組みについて

- ◎ 「やまがた除雪志隊」への登録募集を継続する。
- ◎ 「やまがた除雪志隊」に登録された隊員に、市町村からの除雪ボランティア募集情報を発信し、参加を呼び掛ける。
- ◎ 短期集中的な降雪に対応するため「臨時的な広域除雪ボランティア活動」への助成制度を創設する。



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

◎ 県域を越えた除雪ボランティア活動の広がり

東京都に本社を置く三菱HCキャピタル株式会社では、社会貢献活動として平成30年度から尾花沢市での除雪ボランティア活動を実施。

※ 国土交通省「平成30年度雪処理の担い手確保・育成のための克雪体制支援調査」モデル団体に選定

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等による休止期間の間も、受入れ地域とのオンライン交流を行い、令和4年度からはボランティア活動を再開。

社内からの好評を得て、令和5年度は活動規模を拡大して継続予定。

○令和4年度の活動

- ・活動期間 令和5年2月3日～4日
- ・派遣職員 32名
- ・除雪実績 4地区11件（単身高齢者宅等）



★今年度の活動予定

- ◎ 令和6年1月～2月にかけて2回の活動を予定
- ◎ 尾花沢市の他、大石田町及び戸沢村に活動範囲を拡大して実施予定



◎ 雪害事故防止強化月間の設定と集中的な啓発活動の実施

厳冬期に安全な除排雪の啓発を集中的に行う「雪害事故防止強化月間」を設定し、普及啓発活動を充実強化

特に、雪害事故件数の多い高齢者の雪害事故防止に向けた、情報発信・普及啓発を重点的に実施

- 期 間 令和6年1月12日（金）～令和6年2月11日（日）【31日間】
- 主な取組み・ 県政広報テレビ番組「やまがたサンデー5」や県政新聞広告「県庁だより」を活用した情報発信
 - ・ ホームセンターへのパンフレットの配置
 - ・ 民生委員等の協力を得た、高齢者に対する対面による注意喚起等を市町村に依頼



(昨年度チラシ)

★今年度の取組みについて

- 今年度も雪害防止強化月間を定め、初日には雪害事故防止キャラバンの出発式を開催（予定）し、雪害事故防止に取り組む。
- 高齢者を対象としたチラシを作成し、市町村の協力を得て、回覧板による全戸回覧の実施に取り組む。



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

テーマⅣ 雪を活用した地域活性化

(1) 事業の展開

1. 雪を資源として活用する産業の育成

- i) 雪の魅力や特性などを活用した県産品等の価値の向上
- ii) 山形ならではのスノーカルチャーツーリズムの確立
- iii) 雪に強い農林水産業、商工業の振興

2. 雪に親しむライフスタイルの提案

- i) 県民自らが雪を楽しむ活動機会の拡大
- ii) 雪の魅力を活かした首都圏等への情報発信及び交流拡大

3. 快適な雪国生活のための技術イノベーションの創出

- i) 産学官連携による雪に関連した技術開発を誘発する仕組みづくり

(2) 現状と目標値

①創出・拡充された地域の雪まつり、冬季イベントの件数（累計）

現状値（R4末）：8件／R4目標値：6件

②「やまがた雪文化マイスター」を活用した新たな取組み件数（累計）

現状値（R4末）：8件／R4目標値：6件

③雪関連の技術支援件数（累計）

現状値（R4末）：6件／R4目標値：3件

◎ やまがた雪文化マイスターの認定

やまがたの未来を担う子どもたちに、雪国の文化や冬の楽しさを伝える人材を「やまがた雪文化マイスター」として認定し、活動の普及促進を図るとともに、雪に親しむ機運の醸成を推進。

- 認定件数：46件（36団体、10個人）
- 認定マイスターの主な活用実績
 - ・ 体験ワークショップの開催
 - ・ 作品展示ブースを出展
- 市町村が認定マイスターを活用して実施するイベント等には、「いきいき雪国やまがた推進交付金」を活用することが可能



★今後の取組みについて

- ◎子どもたちが参加できるような雪文化マイスターが行うイベントの創出を支援していく。



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

やまがた雪文化マイスター一覧

団体（36団体）

No.	団体名	市町村	活動内容	No.	団体名	市町村	活動内容
1	市野々集落	尾花沢市	山刀伐(なたぎり)峠かんじきツアー	19	山の内地域づくり協議会	村山市	スノーシュートレッキングや「山の内雪まつり」の実施
2	清流と山菜の里ほその村	尾花沢市	冬山トレッキング、メープルサップ採取体験	20	月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会	西川町	「月山志津温泉雪旅籠の灯り」を実施
3	愛宕神社裸参拝実行委員会	尾花沢市	愛宕神社裸参拝(毎年1月に、裸参拝を実施)	21	月山朝日ガイド協会	西川町	スノーシューガイドの実施。雪山のリスクを学ぶ講習会開催
4	いぬかわ振興協議会	川西町	農地を活用したスノーモービル体験	22	舟形町わら細工愛好会	舟形町	藁細工の制作・伝承活動を実施
5	鳥海やわたインタープリター協会	酒田市	冬山トレッキングなど自然体験活動	23	つる工芸の会	小国町	つる細工の制作・伝承活動を実施
6	藁細工SAKICHIL	新庄市	藁細工作品の制作・伝承(ワークショップの開催等)	24	泉温米沢八湯会	米沢市	温泉地に「かまくら」を設営し、体験の機会を提供
7	大石田町アウトドアクラブ遊Be隊	大石田町	スノーシュートレッキングの開催。	25	月山あさひ雪まつり実行委員会	鶴岡市	雪を活用したイベント「月山あさひ雪まつり」を開催
8	新庄市グリーンツーリズム推進協議会	新庄市	「雪国ワンダーランド」における冬のアクティビティの実施	26	NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ	尾花沢市	「スノーフェスタin長根山」の開催等
9	Oh! 蔵SPORT	大蔵村	雪を掘る速さを競う「地面出し競争 WORLD CUP」開催	27	富沢地域雪まつり実行委員会	最上町	雪を活用したイベント「富岡地域雪まつり」の開催
10	真室川町スポーツツーリズム実行委員会	真室川町	雪国文化に着目したスポーツ競技「ホワイトアスロンワールドカップ」開催	28	会員委行実祭々灯	最上町	「雪ランタン」を使ったイベント「灯々祭」の開催
11	梅の里 雪遊会	真室川町	スノーモービル体験の実施	29	サーモンロードの会	鮭川村	雪国の保存食「鮭のじんぎり」の製作・伝承活動
12	雪の学校実行委員会	小国町	雪山でのハイキング行う「雪の学校」の開催	30	さげがわ友遊C'Love	鮭川村	雪を活用したイベント「さげがわ雪まつり」の開催
13	小玉川青年団 イチコロ	小国町	雪の巨大迷路等を楽しむイベント「雪の中の大冒険」の開催	31	尾花沢市四大まつり実行委員会雪まつり部会	尾花沢市	雪を活用したイベント「尾花沢雪まつり」の開催
14	西置賜ウインタースポーツ振興会	長井市	スノーモービル体験の実施	32	神室雪まつり実行委員会	金山町	雪を活用したイベント「神室雪まつり」の開催
15	遊佐町鳥海山観光ガイド協会	遊佐町	鳥海山の氷柱を巡るスノートレッキングの実施	33	朝日町高齢者生産活動センター「民芸部」	朝日町	はげごの製作、伝統継承活動
16	協光観町豊飯人法団社般一会	飯豊町	どんでん平スノーパーク運営(バナナボート牽引、巨大滑り台等)	34	鮭川村米地区有志	鮭川村	くじらもちの製作体験、かんじきトレッキングの開催
17	ブラク人内案山妻吾西	米沢市	雪原を歩くツアー・冬山トレッキングを実施	35	最上町わら細工民芸品保存会	最上町	子どもたちを対象にした、わら細工体験活動
18	合組産生菜雪井長上市沢米	米沢市	雪菜に関する学習機会・体験活動等の提供	36	学びの里TASSHO	寒河江市	リース作りやスノーバナナボート等の里山体験の提供



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

やまがた雪文化マイスター一覧

個人（10名）

No	氏名	市町村	活動内容
1	叶内 周	新庄市	冬のアクティビティ(雪像づくり、スノーモービル等)。
2	松原 英俊	天童市	鷹匠としての自然体験活動(鷹と歩く雪山トレッキング等)。
3	高橋 伸一	真室川町	藁細工作品の制作・伝承(ワークショップの開催等)。
4	加藤 真一	米沢市	冬山トレッキング(春間近な時期に堅雪の上をトレッキング)。
5	清野 真由美	西川町	月山和紙を活用した工芸品の制作(ワークショップの開催等)。
6	佐藤 道信(小国わかさぎ会)	小国町	わかさぎ釣り体験の実施。
7	本間 信義	小国町	巨大「かまくら音泉」の設置
8	佐藤 五郎	鮭川村	冬の手仕事であった藁細工の制作・伝承活動
9	高橋 恵	白鷹町	深山和紙の製品づくりや継承活動
10	二藤部 久三	大石田町	各地の雪下ろし講習会において、講師を務める



高橋伸一氏（真室川町）



学びの里TASSHO（寒河江市）



新庄市グリーン・ツーリズム
推進協議会（新庄市）



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

◎ 雪国文化の魅力の普及啓発

寒河江市で開催した「やまがた音と光のファンタジア2022」において、雪文化マイスターの活動紹介ブースを出展

- 出展日 令和5年2月12日（日）
- 会場 フローラ・SAGAE（イベントサブ会場）
- 内容 ・わら細工の作成体験及び展示・販売
・「鮭のじん切り」の展示・販売



ブースの様子



わら細工の展示



「鮭のじん切り」の展示



◎ いきいき雪国やまがた情報サイトによる情報発信

安全・安心に対する意識の向上、雪の魅力の再認識、
雪の利活用の促進に向けた情報を幅広く発信

インバウンド効果の創出を図るために、英語・中国語・
韓国語に多言語化にも対応※

URL : <http://ikiikiyukiguni-yamagata.com/>

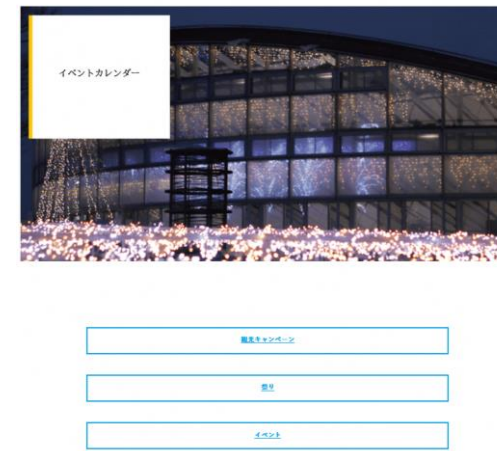
※ 第2回県民会議（H29.11月）での意見に基づき実施



情報サイトページ

< 主な掲載情報 >

- ・ 冬のイベント情報
- ・ 雪文化マイスターの活動紹介
- ・ 雪室等の雪氷熱利用の事例紹介
- ・ 広域除雪ボランティアの募集案内
- ・ 安全な除排雪の普及啓発



イベント情報ページ



いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

◎ 昨冬の雪害死亡事故について

◎昨冬は、県内で3件の死亡事故が発生

→ 除雪機（2件）や落雪（1件）による死亡事故が発生しており、いずれも高齢者。

	日付	曜日	発生地区	年代	性別	原因	当日の 最高気温 (4地域)	概要
1	家庭用除雪機によるもの 2件(67%)							
No.1	12月18日	日	庄内	80代	男性	除雪機	4.4℃	除雪機の下敷きになったもの。
No.2	1月26日	木	西置賜	70代	男性	除雪機	-0.7℃	除雪機の下敷きになったもの。
2	屋根からの落雪によるもの 1件 (33%)							
No.3	12月24日	土	西置賜	70代	女性	落雪	4.2℃	屋根からの落雪により、埋もれたもの。



◎ 雪害防止対策（死亡事故ゼロ）について

＜雪害防止対策について＞

- 1 安全な除排雪の啓発、特に事故の多い高齢者の雪害防止に向けた呼びかけ等の実施
- 2 ボランティアなどによる除排雪の担い手確保に取り組んでいるものの、住民が除排雪作業をしなければならない現実にある
- 3 地域の高齢化の進行等を踏まえ、除排雪における技術イノベーションを進めることが必要

⇒ 技術イノベーションによる雪害事故の防止、死亡事故ゼロ については本県の振興につながる



◎ 快適な雪国生活のための技術イノベーションの創出について

快適な雪国暮らしを実現するため、新しい発想による雪国に適した商品の開発を推進するとともに、雪国の地域特性を活かした地域産業の振興を図っている。

(1) 山形県雪国技術イノベーション研究会の実施

○構成団体：産業技術振興機構、商工会議所、商工会連合会、山形大学、
鶴岡工業高等専門学校、東北芸術工科大学、新庄雪氷環境実験所

○令和4年度の開催状況

- ・開催日 令和5年3月9日（木）
- ・主な内容

民間企業による開発中商品の事例発表

(2) 雪国技術イノベーション事例集の作成

製品開発に取り組む県内企業の裾野を広げ、開発への機運醸成に向けて、県内外の事例をまとめた冊子を作成しHPで公開。

イノベーション研究会での議論を経て完成。
冊子では県内外の事例のほか、住民からの声や学生のアイデア、開発支援施設等を紹介

事例① 高効率帯水層蓄熱システム Chapter 1

開発企業：日本地下水開発(株)【山形市】

県内	県外		
エネルギー	住環境	ICT	ものづくり
製品化	開発中		防災

1 製品の概要

- > 再生可能エネルギーである地下水熱の有効利用
- > 地下帯水層に冷熱と温熱を蓄えて、冷暖房・給湯・消融雪に利用するトータル熱供給システム
- > 冷暖房では年間の基準一次エネルギー消費量を約50%削減、冷房にフリークーリングを採用すれば、約80%削減が可能
- > 令和2年度新エネ大賞経済産業大臣賞【導入活動部門】受賞

2 こんな場面に!

- > ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）の冷暖房として
- > 事業所・病院・老健施設などの設備更新（省エネ対策）として



◎ 快適な雪国生活のための技術イノベーションの創出について②

(3) セミナーでの情報発信

雪害事故や除排雪の担い手不足といった課題の解消に向け、地域の雪対策に関する情報共有・意見交換を目的としたセミナーを開催。

セミナーの中で、除排雪の省力化に役立つ消融雪設備等のイノベーション製品について、雪国技術イノベーション事例集に掲載の開発企業から、製品紹介を行った。


- 開催日 令和5年10月26日(木)
- 場 所 Link MURAYAMA (村山市)
- 製品紹介企業
 有限会社菅藤組 (尾花沢市)
 日本地下水開発株式会社 (山形市)

雪にまけないまちづくりセミナー
 ~共助除排雪の仕組みづくり・イノベーションの活用に向けて~

日時 令和5年10月26日(木)
 13時30分~16時

場所 Link MURAYAMA 1階リビングスペース
 (村山市権岡荒町二丁目1-1)

対象 行政・社会福祉協議会職員、
 自治会関係者等、どなたでも参加できます。




わたしたちの住むまちが雪にまけないために、
できることってなんだろう

豪雪地帯の山形県に、今年も冬がやってきます。
除排雪の担い手不足や、除排雪作業中の事故の発生。
課題も雪も山積みの冬。
でも、わたしたちの近くには、雪の困りごとの解決に向けて前進している人たちがいます。

このセミナーでは、地域での共助による除排雪や、雪対策に役立つイノベーション製品開発等、雪対策に関わる方からの事例紹介や、国土交通省克雪体制づくりアドバイザーによる講演を通して、地域における雪対策の取組について考えます。





いきいき雪国やまがたづくりに向けた取組みについて

◎ 豪雪地帯安全確保交付金について

豪雪地帯安全確保緊急対策交付金

要求額:95百万円(前年度:75百万円)
(うち重要政策推進枠 95百万円)

概要

- 豪雪地帯において、除排雪時の死傷事故が多発していることを踏まえ、将来を見据えた戦略的な方針の策定と、持続可能な除排雪体制の整備等に取り組む自治体（道府県及び市町村）を支援する。

対象事業

下線が拡充部分

- 地域安全克雪方針策定への支援（補助率10/10） ※策定主体は市町村
自立的で安全な地域を実現するための将来構想を地域ぐるみで設定し、その達成のための地域のルールや各主体の取組を定める地域安全克雪方針の策定に対して重点的な支援を行う。

- 方針策定に向けた試行的取組への支援（補助率1/2）
方針策定に並行して行う試行的な取組に対して支援を行う。

<取組の例>

- ・ 多様な主体の参画による除排雪の体制づくり
(要援護世帯等※への屋根雪下ろし支援や除排雪のための装備・資機材の購入を含む)
※要援護世帯等は高齢者世帯、障害者世帯、母子世帯及び雪国に不慣れな移住間もない世帯を含む。
- ・ 安全講習会の開催等、除排雪の担い手の育成
- ・ 克雪住宅化やアンカー設置に関する普及活動
- ・ 除排雪に関する自動化、省力化等に資する技術の導入
- ・ 所有者不明空き家の屋根雪下ろしによる落雪被害防止に係る体制づくり(拡充) 等



雪下ろし実技講習

【事業主体】

- 道府県、市町村

効果

- ・ 地域安全克雪方針策定への支援、除排雪の体制づくりへの支援を実施することで、除排雪時の死傷事故の低減が図られる。

国土交通省国土政策局
予算概算要求資料より抜粋

R6要求額：95（百万円）
（前年度 75（百万円））

山形県内では、県の他に6市町が活用中

活用事業：

- ・ 安全克雪方針の策定
- ・ 要援護者への除雪費支援
- ・ 貸与用小型除雪機の整備
- ・ 雪下ろし安全講習会の開催 など

★今後の取組みについて

- ◎ 県内市町村が交付金を有効に活用できるよう、交付金の周知を行っていく。
- ◎ 県としても交付金を活用し、持続可能な除排雪体制の整備等に取り組んでいく。



(参考) いきいき雪国やまがたづくり宣言について

いきいき雪国やまがたづくり宣言

すべての県民が安心して暮らし、雪国ならではの文化や雪まつりなどを楽しみ、国内外から多くの人々が訪れる「いきいき雪国やまがた」を創り上げていくため、以下の取組みを進めます。

- 1 雪の持つマイナス面を受け止め、協力し支えあいながら、雪とともに暮らしていきます。
- 2 先人が育んできた雪国の豊かな文化や精神性を誇りに思い、未来に向けて磨き上げていきます。
- 3 雪を地域の魅力や資源としてプラスに捉え、雪国ならではの産業振興と地域活性化に繋げていきます。

平成28年11月25日
いきいき雪国やまがた県民会議



(参考) いきいき雪国やまがた推進県民会議設置要綱

(設置の目的)

第1条 いきいき雪国やまがた基本条例の基本理念に基づき、県、市町村、事業者及び県民の役割分担、連携及び協力のもと、雪害の防止や雪の利活用の拡大による地域活性化を推進するため、いきいき雪国やまがた推進県民会議（以下「県民会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 県民会議は、雪害の防止、雪の利活用その他の雪に関する取組みを推進するとともに、それぞれの団体等における取組みの連携、調整等を行うものとする。

(組織)

第3条 この県民会議は、山形県及び別記の団体等をもって構成する。
2 県民会議に会長を置き、山形県知事をもって充てる。

(会議)

第4条 県民会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 会長は、必要と認めるときは、会議に前条第1項に掲げる以外の団体等を出席させることができる。

(事務局)

第5条 県民会議の事務を処理するため、事務局を山形県みらい企画創造部くらすべ山形魅力発信課に置く。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、県民会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年11月25日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年8月29日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。



(参考) いきいき雪国やまがた推進県民会議設置要綱

別 記

団体等の名称
山形県市長会
山形県町村会
社会福祉法人山形県社会福祉協議会
公益社団法人山形県観光物産協会
山形県商工会議所連合会
山形県商工会連合会
公益財団法人山形県企業振興公社
国立大学法人山形大学工学部
独立行政法人国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校
山形県農業協同組合中央会
国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター新庄雪氷環境実験所
山形県青少年教育施設協議会
特定非営利活動法人クリエイトひがしね
新庄市雪の里情報館